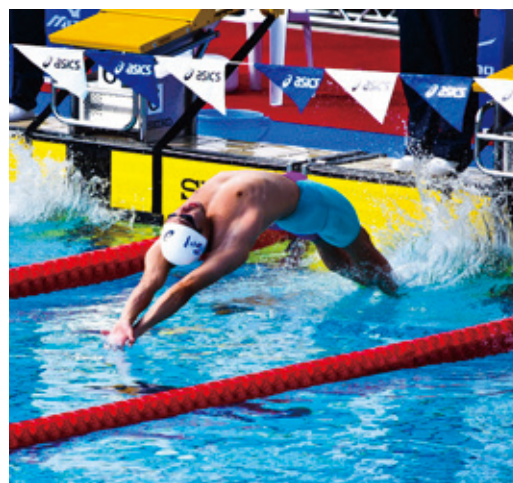


監督はアジア選手権の覇者 一人一人のレベルに合わせ指導

2009年競泳アジア選手権200メートル背泳ぎ覇者の山崎貴大さん(28)
=内灘町出身=が21年春、現役引退を機に金沢学院大学附属高校で教鞭を
取り、22年春からは本校水泳部の監督も務めることになりました。これまでの経
験や技術、知識を中学生の部員一人一人のレベルに合わせて伝えることで、競
技に必要な泳力、体力、精神力の向上につなげたいと意気込んでいます。

本校水泳部は、スイミングスクールに所属する部員に対しては、スクールの
指導内容やコーチの方針を踏まえてサポートします。週2回、金沢学院大学
附属高校水泳部と合同で金沢プールの長水路(50メートル)で練習するほか、
陸上トレーニングや体づくりの学びにも取り組み、将来の全国大会上位入賞
も視野に、人間性を磨き高める目標を掲げます。



国体100メートル背泳ぎ決勝に出場した当時の山崎監督
=2018年、敦賀市内

監督の胸の内



良い時も悪い時も寄り添いたい

スポーツは過程より結果が目指されます。良い結果は選手の自信となり、次の目標
を目指して突き進むことでしょ。しかし、調子の上昇しない時やスランプの時はどうで
しょうか。目標がなかなか立てられず、次の試合に不安な気持ちを抱えることになりま
す。そんな時、部員が一人で抱え込まないようにすることが指導者の役割と考えていま
す。そのため部員とのコミュニケーションを大切に、思いや目標を共有して良い時も悪
い時も寄り添って競技力の向上と人間性の成長に力を尽くします。

山崎貴大 監督 金沢高校、日本体育大学体育学部卒業。自衛隊体育学校を
経て2021年4月から金沢学院大学附属高校で保健体育の教員。

チームポリシー

1. 部活動だけでなく、勉学も真面目に取り組む
2. 自分で考えたこと、思ったことをはっきりと
言葉にし、相手に伝える
3. 何事にも一生懸命に取り組む



練習場所

各スイミングクラブを中心
に、金沢プールも利用
します。

練習日程

各スイミングクラブの計
画に従い、週2回高校と
連携した練習を行います。

体づくりと柔道の基本 礼儀作法も身に付けて武道を極め

高校、大学、大学院の生徒、学生が集う同じ柔道場で練習に励む場は、これから柔
道を極めようとする中学生にとって刺激的であり、かつ、多くの学びを得る機会となりま
す。もちろん、まだ体が出来上がっていない中学生が体格の勝る高校生、大学生らと
いきなり対峙することは無謀であり、まず、体づくりと柔道の基本の習得に努めます。

柔道は、「筋力」「持久力」「柔軟性」、巧みな動きを高める「巧緻性」などさまざまな
運動要素を含んでいます。さらに相手を尊重する礼儀作法を身に付けることが肝要
です。中高大の一貫指導体制のもと、技と心を磨いていきましょう。



監督の胸の内



文武不岐。学問と武道は一つの道

学問と武道は一体です。学問を重ねることと武道の修練を積むことは一つの道であり、人として成長するた
めには欠かせないという考えが「文武不岐」です。部員には学問に打ち込み、稽古を重ねるよう指導してい
きます。

渡辺直勇 男子監督 旭川龍谷高校、筑波大学卒業。同大学院修了。1989年全日本選手権大会3
位。金沢学院大学スポーツ科学部教授。



柔道での学びで人としての成長を

部員が柔道を通して人間的に成長することを願っています。当たり前のことを当たり前にやり続ける
こと。そこからの学びを日常の生活にどう生かすかを考え、社会に貢献できる人間を目指してほしい。

渡辺涼子 女子監督 岡山県立児島(現・倉敷鷺羽)高校、筑波大学卒業。同大学院修了。1992年バルセ
ロナ五輪出場。金沢学院大学スポーツ科学部教授。全日本柔道連盟強化副委員長。

チームポリシー

1. 新しいことに挑戦できる
たくましいところ
2. 辛いことや苦しいことに
立ち向かえる強いところ
3. 人の痛みが理解できる
優しいところ

練習場所

金沢学院大学
第2体育館柔道場

練習日程

平日は授業終了後、
2時間程度の練習を
予定します。週1日は
休息日を設けます。

信頼の指導者



コーチ **橋高 朱里**

金沢学院東(現・金沢学院大学附属)
高校、金沢学院大学卒業、同大学院修
了。2013年全国高等学校体重量別選手
権大会優勝。金沢学院短期大学助教。